

一般社団法人 神奈川県作業療法士会

令和7・8年度 理事及び監事役員選挙 選挙公報

令和7・8年度 理事及び監事役員選挙の立候補者募集（募集期間：2024年11月25日～2024年12月23日 消印有効）に対し、理事8名、監事0名の立候補がありました。以下に立候補者の氏名・所属・コメントをお知らせいたします。なお、定数（理事18名、監事2名）を満たさないため、立候補者は無投票当選となります。

	氏名	所属	ひとこと
理事	神保 洋平	湘南医療大学	神奈川県作業療法士会の理事選挙に立候補するにあたり、私は教育部担当理事としてのこれまでの経験を生かし、生涯学修制度のさらなる推進に尽力してまいります。さらに、学術部と連携して、研究と実践の結びつきを強化し、MTDLPの推進にも注力してまいります。また、臨床実習教育の充実を図り、実習指導の支援を強化することも重要視しています。次期も引き続き、皆様の支持を賜りますようお願い申し上げます。

理事	青木 啓一郎	昭和大学保健医療学部	<p>神奈川県作業療法士会の会員の皆様へ</p> <p>拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、神奈川県作業療法士会の活動に多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。この度、令和7年度から令和9年度までの理事選挙に立候補させていただくこととなりました、青木啓一郎と申します。</p> <p>私は現在、昭和大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻において教育者・研究者として活動しております。これまで、神奈川県作業療法士会の理事として2年間、学会評議委員を務め、学術活動や教育に関わる業務を通じて、作業療法士の発展に寄与してまいりました。</p> <p>理事の役割は、会員の皆様の声を受け止め、作業家法の発展に向けた活動を推進することです。これまでの経験を生かし、特に以下の3つの分野に注力していきたいと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員の声を反映した事業の推進 ・ 学術活動の活性化と知識の共有 ・ 地域社会への貢献と多職種連携の推進 <p>これらの取り組みを通じ、会員の皆様がこの会に所属してよかったと思えるような活動を展開していきたいと考えております。理事の職務は責任重大ではありますが、これまでの経験と情熱をもって全力で取り組む覚悟です。</p> <p>今後も、会員の皆様のご意見を真摯に受け止め、共により良い作業療法士会を築いていきたいと考えております。</p> <p>何卒、青木啓一郎に温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>最後になりますが、皆様のご健勝とますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">敬具</p>
理事	神田 崇央	湘南大磯病院	<p>この度、理事に立候補させていただきました神田崇央です。</p> <p>私はこれまで3期(6年間)規約委員会の担当理事を務めさせていただきました。</p> <p>当会は次年度に大規模な組織改編を行う方針となっております。組織改編には定款・規定の変更は不可欠です。</p> <p>これまでの経験を活かし、円滑な組織運営ができるよう、活動していきたいと考えております。</p> <p>また、私は身体障害の急性期領域・回復期領域・在宅領域、自費領域で働いてまいりました。現場の作業療法士の意見を神奈川県作業療法士会の活動に反映していきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>

理事	望月 強併	日本鋼管病院	<p>この度、理事に立候補させて頂きました望月強併と申します。</p> <p>私は2期4年間、理事を務めさせて頂き、今期は財務部を担当させて頂きました。</p> <p>財務部では、適切な会計処理を実施し、各部の予算案の作成など行ってきました。</p> <p>理事として神奈川県士会に貢献していきたいと考えています。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
理事	佐藤 範明	神奈川県立保健福祉大学	<p>私はウェブサイト管理委員会で企画・管理・運営に6年間、地域リハビリテーション部では精神保健福祉班の研修の企画・運営に7年間携わり、2019年度からはウェブサイト管理委員会の理事を3期6年間務めてまいりました。</p> <p>前回任期では、昨今のメディア発信の強化に加え、県士会ニュースへの毎号の情報発信など、デジタル・アナログ両面から県士会サイトの周知・啓発に努めました。</p> <p>今後も、会員の皆様により有益な情報を発信できるよう、事務局や他の部・委員会と適切に連携し、情報発信を強化していく所存です。</p> <p>理事として、作業療法の啓発に力を注ぎ、県士会の魅力や強みを発信してまいります。年々、作業療法士を目指す学生の減少や県士会の入会率低下が喫緊の課題であると感じています。中高生を中心に県民への作業療法啓発はもちろん、県士会の魅力や職能団体の役割を発信し、県士会や作業療法に興味を持っていただけるよう尽力する所存です。県士会を通じ、作業療法士の仲間や県民・行政・企業との繋がりを増やしていきたいと考えています。</p>
理事	山勢 健太郎	平成横浜病院	<p>この度、理事に立候補させて頂きます、山勢健太郎と申します。</p> <p>昨年から1期、2期、理事を務めさせて頂き、福利部担当として活動いたしました。</p> <p>今後も会員が相互交流できる機会を創出し、様々な取り組みを通じて、会員の皆様の福利に資するよう努めてまいります。</p> <p>どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
理事	遠藤 陵晃	横浜 YMCA 学院専門学校	<p>このたび、理事へ立候補させていただきます遠藤陵晃と申します。</p> <p>これまで理事として、地域関連事業を中心に予防・難病・小児・精神領域の研修会や普及啓発を行ってきました。また、神奈川県介護予防普及アドバイザーや地域リハビリ三団体協議会の副会長も務めさせて頂きました。</p> <p>今、地域共生社会に向けて県民や市町村からは子供から高齢者、精神から身体面までみれる作業療法士の力を必要とされています。会員の皆様と作業療法士が身近で必要とされる存在になるように努めて参りたいと思っております。今までの経験をいかし、引き続き神奈川県作業療法士会の円滑な事業展開に尽力する所存です。</p>

理事	澤口 勇	訪問看護ステーションレンゲの花	<p>私はこれまで理事を8期努めて参りました。その間の県士会は一般社団法人の設立や WFOT 横浜大会への参画、県内リハ職3団体協議会の設立、神奈川 DWAT への加入など、皆様の活躍がより着実に地域に根付くよう、その基盤を作ってきました。作業療法士会が活躍する分野も今では医療保険・介護保険・障害福祉と諸制度に分けられ、働く職域も身障・小児・精神・老人・成人・行政・学校教育・労働・司法・災害リハなど多岐に拡がり、また最近では疾病別に脳卒中・心臓病・がん・糖尿病・精神疾患とそれぞれに特化して専門性を発揮しています。</p> <p>それでもまだなお、市民においては、OT を知らない人達が大勢いると痛感しており、それは生活困窮者や障害児・者、高齢者など経済弱者に多く、作業療法の啓蒙・啓発を通して、引き続き日常生活で困っている市民の社会参加へのお手伝いをしたいと思い、立候補を決意致しました。私自身は精神科に特化した訪問看護ステーションで毎日、災害時においては要配慮者に当たる方々の訪問に従事しております。福祉領域で働く OT はまだ少ない為、日々の臨床経験が皆様の活動のお役に立てれば幸いです。よろしく願いいたします。</p>
----	------	-----------------	---

※ 届出があった順に記載

※ 敬称略

今後は役員選挙規定に則り、理事会による理事・監事の推薦に移行します。

全ての役員の正式な決定は、令和7年度の社員総会にて行われます。

選挙管理委員長 池田公平